インターネットセキュリティ
基本原則について

IP for Everyone


IoT (Internet of Things)
IP for Everything
IP for Everyone
You Tube
ニコニコ動画
NICO NICO DOUGA

科学技術イノベーション総合戦略 2015

http://www8.cao.go.jp/cstp/sogosenryaku/2015/honbun2015.pdf

- P.5

  第１部　第５期科学技術基本計画の始動に向けた３つの政策分野

  第１章　大変革時代における未来の産業創造・社会変革に向けた挑戦

  １．基本的認識

また、このように先行きの見通しを立てにくい大変革時代にあっては、現時点で未来の産業や社会の将来像を明確に示すことは困難だが、現在発展しつつある個別のシステムが更に高度化し分野や地域を超えて結び付き、あらゆるものがネットワーク化されることにより、必要なもの・こと（サービス）を、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供でき、社会の様々なニーズに対し、きめ細やかに、かつ、効率良く対応できる**「超スマート社会」**ともいうべき社会が向かう方向性と考えられる。そのような社会では、個別の製品や要素技術のみならず、それらが有する個々の機能を結びつけ、一つの統合体として機能させる「システム化」によって、新たな価値が生み出されると考えられる。世界では、ドイツのインダストリー4.0 や米国の先進製造技術開発の取組が示すように、この大変革の時代を先導すべく科学技術イノベーション政策の競争が繰り広げられている。このような背景を踏まえ、**我が国は、こうした時代の流れを先取りし、総合科学技術・イノベーション会議とIT総合戦略本部、サイバーセキュリティ戦略本部との連携を強化しながら、日本が強みを有する研究や技術を伸ばしつつ、「超スマート社会」の形成を世界に先駆けて目指すことが必要である。**

科学技術イノベーション総合戦略 2015

http://www8.cao.go.jp/cstp/sogosenryaku/2015/honbun2[illegible]df

― 第5期 科学技術基本計画 ―

◆『超スマート社会』の実現

✓IoTとシステム化

✓サイバーセキュリティ対策が必須
(特に、クリティカル・インフラ)

[illegible]うした時代の流れを先取りし、総合科学技術・イノベーション会議とIT総合戦略本部、サイバーセキュリティ戦略本部との連携を強化しながら、日本が強みを有する研究や技術を伸ばしつつ、「超スマート社会」の形成を世界に先駆けて目指すことが必要である。

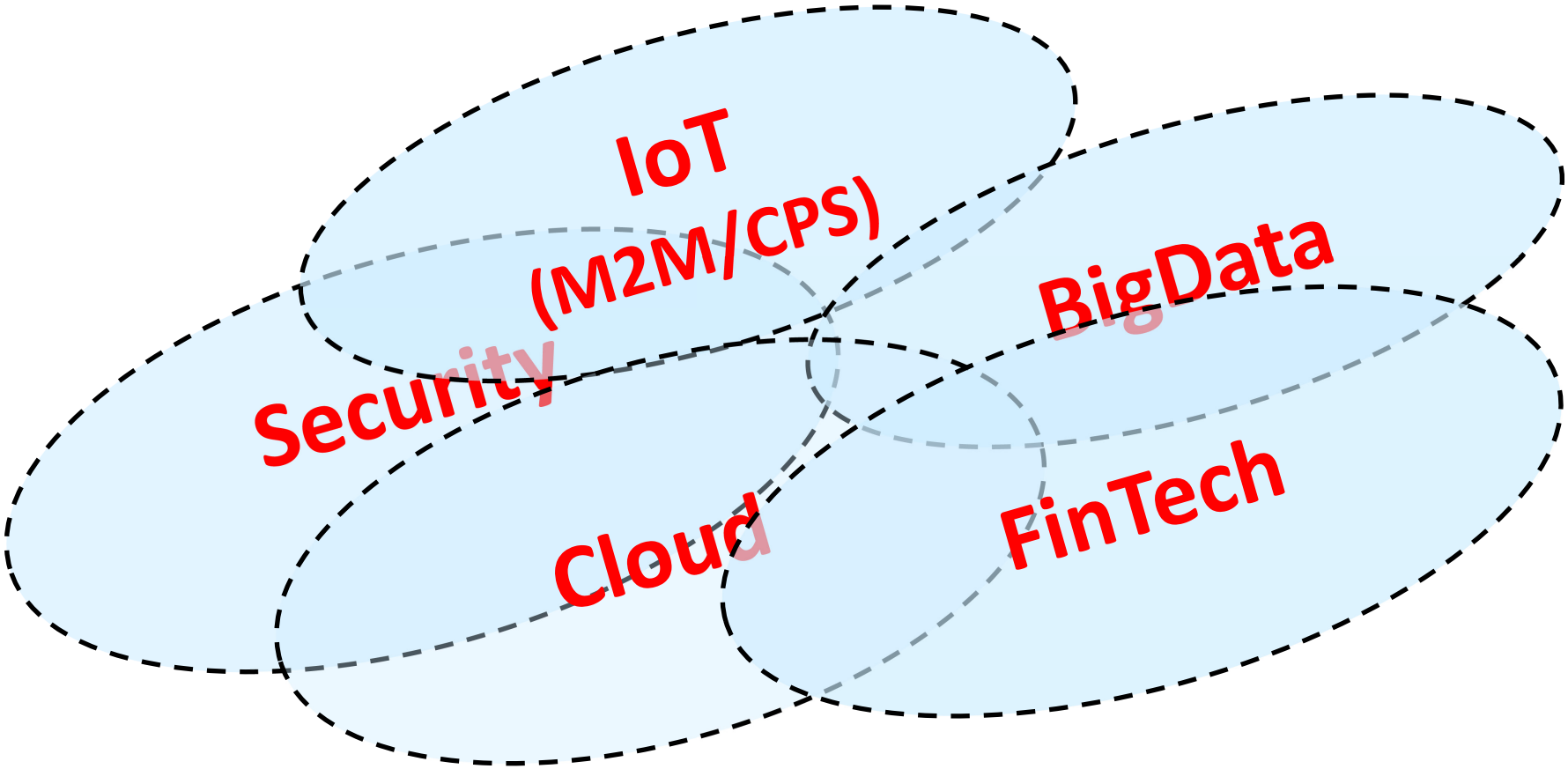
Discussion in 2007

What is our goal ; toward the "Eco-System"

- Back-Ground
  - There are many systems/networks with IP
  - Still, there are many non-IP systems/networks
  - Networks and Systems are tend to be **Fragmented**...
- Objective and Goal
  - **Avoiding the fragmentation** of IP systems/networks
  - Encourage the **collaboration among sub-systems**
  - Explore the "Eco-System", that deliver **the cheapest system** deployment , while delivering **innovations**.

Collaborative Security

1. インターネットの Trust の必要性
2. エンド・エンドでの暗号化の必要性・必須性
3. 問題は、ある時点で完全に解決するものではない。
4. 誰かが 問題を解決してくれるわけではない。
5. Collaborative Security は、「未来への投資」


IoT
(M2M/CPS)
Security
BigData
Cloud
FinTech

『zero-incidentは不可能』
『IoT化は止まらない』

⇩

「過保護」は、返って危険度(注)を増大させる.
『つながることを前提に』考えなくてはいけない.

(注)BCPとビジネスの拡張可能性と両面

セキュリティに対する考え方 (案)

Internet Governance Conference Japan
IGCJ
日本インターネットガバナンス会議
http://igcj.jp/

1. インターネットは**グローバル**なインフラである
2. 強制する (enforce) ・制限する (restrict) のではなく、活動の**活力向上を応援 (encourage)** する
3. 「過保護」は、かえって危険度を増大させる。 **つながることを前提に考えなくてはいけない。**
4. 「やらされる」ではなく、**「やりたくなる」**を目指す
5. **経験と知見の「共有」**を行う
6. インシデントの経験者を、「被害者」として**「保護・支援」**する
7. 「原理主義」ではなく**「実践主義」**で進める
8. **「匿名性」の堅持** or **「プライバシーの確保」**
9. **「実施権」**は個人にある、ただし**第三者への委任は可能**
10. セキュリティ施策の実施を、**品質向上・確保のための投資**と 捉える

セキュリティ対策の経済性

1. 常時は邪魔者(効率を下げる)&不要。
2. 無事故が続くと、『さぼりたくなる』
3. 必要性は誰も否定しませんが、、、、、、、『さぼっても』、『頑張っても』、、、利益構造には変化がない。
4. インシデントが起こった時の 損害額 が 急激に肥大化
5. 専門家を育成できない(コストと人材不足)。

セキュリティ施策の実施を、
品質向上・確保のための投資と 捉える

To do